

## 令和2年度在宅療養あんしん病院登録システム利用状況調査結果（概要）

### 【目的】

在宅療養あんしん病院登録システムの登録者の入院等の利用状況、院内での周知状況等を把握し、今後の本システムの改善を行い本システムの満足度向上を図るとともに、今後の利用拡大に結びつける。

### 【調査方法】

- (1) 方式：アンケート方式
- (2) 対象：在宅療養あんしん病院 135病院
- (3) 評価期間：令和2年10月1日～11月30日

### 【利用状況調査結果】 ※有効回答数N=135病院

- (1) 利用実績等について（登録者数はR2.12.31時点）

入院利用実績のある病院数	登録者数 (55病院)	利用者数 (入院した人)	利用者の 平均年齢	利用者の 平均入院日数 (入院中を除く)	在宅関係者への 退院調整連絡
55病院	10,778人	417人 (うち、かかりつけ医によるあんしん病院依頼は70人)	84.6歳	16.9日 (癌・心不全等を含む)	有41.8% ----- 無58.2%

※（参考）全登録者数 14,455人

- ・利用実績を調べるにあたり、本システムを利用した入院かどうかの判断が困難であることから、登録者が入院した事例全てをカウントしている。

### (2) 病院における地域連携担当者の取り組み状況

患者からの本システムに登録したいとの相談	有58.5% 無41.5%
登録者優先の入院調整	有64.7% 無35.3%

システム未登録者への紹介	有 29.6% 無 70.4%	
	無の場合の理由 ① 患者登録の手続きが煩雑 6.7% ② 診療報酬上の位置づけや補助がない 3.4% ③ 対象者像が不明確 11.2% ④ 入院対象となる状態の患者が少ない 23.6% ⑤ 既に多職種連携体制が構築できている 21.3% ⑥ 患者の病院への依存度が高くなる 1.1% ⑦ 患者がシステム登録や活用を拒否 0.0% ⑧その他(*) 32.6%	
院内の周知状況	医師	よく周知されている 5.2% まあまあ周知されている 45.9% あまり周知されていない 40.7% 全く周知されていない 4.4% わからない 3.7%
	病棟師長	よく周知されている 8.9% まあまあ周知されている 43.7% あまり周知されていない 42.2% 全く周知されていない 2.2% わからない 3.0%
	医事部	よく周知されている 20.0% まあまあ周知されている 55.6% あまり周知されていない 21.5% 全く周知されていない 0.7% わからない 2.2%
うまく活用できた事例	有 6.7% 無 93.3%	
利用者からの苦情	有 0.0% 無 100.0%	

(\*) 患者退院時のシステム紹介を行わない理由が「その他」の場合の主な内容

- 登録をしていなくても可能な限り入院を受け入れるため。(3件)
- 患者がシステム登録や活用を拒否すること、また案内する体制が整っていないため。
- 本システムの制度を説明しても理解できない高齢者が多数おられるため、登録につなげることが難しい。

### (3) 本システムに関する評価(自由意見)

- 本システムを利用して良かった点、退院時の連携が進んだ点
  - 入院の調整がしやすくなること。(2件)
  - コロナ禍にあり、在宅での療養や看取り希望が増える中であんしん病院の登録者が増えている印象がある。
  - かかりつけ医を登録することで、患者・家族さんも何かあった時に入院できる病院があるという一つの安心材料になっている。
  - かかりつけ医、ケアマネ等関係機関の情報が無いとき、各所の連絡先がすぐわかる。
  - 長期の休み(お盆・連休・年末年始)等に開業医の先生や患者さんが安心して利用することが出来た。
  - 在宅医と連携を取り、入退院をスムーズに行っている。
- 本システムの改善要望点
  - もっと利用してもらえるようにアピールしてほしい。またアピールしたいと考える。連携医との連携がスムーズに出来ればよいと考える。

- 空床入力の簡略化をお願いしたい。
- このシステムに登録した患者が、いかなる症例であっても当院に入院可能と考え  
ておられる方が多数いる。
- レスパイト入院についても有効活用できるシステムになれば活用の幅が広がると  
感じた。
- 本システム利用での入院に対して診療報酬上での評価が望まれる。

以上